

こども未来共創フォーラム

～困難な状況に置かれた子どもたちへ、 今、私たちができること～

現在、日本の子どもの9人に1人が相対的貧困にあると言われています。また、ひとり親世帯では、2人に1人が貧困状態です。子どもの貧困は、子どもたちの力だけでは抜け出すことは非常に困難です。また、貧困だけではなく虐待やいじめなどにより家庭や学校に居場所がない子どもたち、さらに外国にルーツを持つ子どもたちの存在も、多くのメディアで取り上げられています。

このような困難な状況に置かれた日本の子どもたちを包括的に支援し成長を育み、子どもたちが夢や希望をもてる社会となる必要があります。今、私たちに何ができるかを考える機会として、フォーラムを開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時

2023年11月12日（日）
13:00～15:30

受付開始：12:00～

場所

宇部市多世代ふれあいセンター ふれあいホール
(宇部市琴芝町二丁目4番25号)

入場料

無料

当日 プログラム

テーマ	「困難な状況に置かれた子どもたちへ、今、私たちができること」
開会挨拶	宇部市長 篠崎圭二
説明	「宇部市と日本ユネスコ協会連盟の連携協定について」 日本ユネスコ協会連盟 理事 小山田隆
基調講演 (講師プロフィール裏面)	一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 副代表理事 認定NPO法人キッズドア 理事長 渡辺 由美子
パネルディスカッション	
パネラー	宇部市長 篠崎圭二 宇部市教育委員会 教育長 野口政吾 認定NPO法人キッズドア 理事長 渡辺由美子 一般社団法人キッズラップ 代表理事 金子淳子 日本ユネスコ協会連盟 理事 小山田隆
コーディネーター	日本ユネスコ協会連盟 参与 川上千春



篠崎圭二



野口政吾



渡辺由美子



金子淳子



申込➡ QRコードもしくはURLからお申込みください。

<https://forms.gle/uAFucZygVKz97v3TA>

後援

学生団体Ube col (宇部カレ)、宇部市社会福祉協議会、宇部商工会議所、株式会社宇部日報社、宇部ユネスコ協会、一般社団法人キッズラップ、市民活動センター「青空」、日本航空株式会社 山口支店、株式会社ファーストリテイリング、株式会社山口銀行 宇部支店、国立大学法人山口大学、UBE株式会社

基調講演 講師 プロフィール

- 渡辺由美子（わたなべ ゆみこ）

一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 副代表理事。
認定NPO法人キッズドア 理事長

千葉大学出身。大手百貨店、出版社を経て、フリーランスのマーケティングプランナーとして活躍。配偶者の転勤に伴い一年間イギリスに移住し、「社会全体で子どもを育てる」ことを体験する。2007年任意団体キッズドアを立ち上げ、2009年内閣府の認証を受けて特定非営利活動法人キッズドアを設立。

日本の全ての子どもが夢と希望を持てる社会を目指し、活動を広げている。

2016年第4回日経ソーシャルイニシアティブ大賞国内部門ファイナリストに選ばれる。

2018年5月、初めての著書『子どもの貧困～未来へつなぐためにできること～』（水曜社）を上梓。

こども家庭庁こども家庭審議会 こどもの貧困対策・ひとり親家庭支援部会 臨時委員。

厚生労働省 社会保障審議会・生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員。



山口県宇部市と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の こどもの未来共創に向けた連携と協力に関する協定について

山口県宇部市と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（以下、日本ユネスコ協会連盟）は、「こどもの未来共創に向けた連携と協力に関する協定」を、2023年9月28日に締結しました。

1. 目的

宇部市は、すべての子どもが、家庭の環境や経済的な状況によらず、等しく健やかに成長し、夢や希望をもって将来を歩んでいけるよう、「すべての子どもと親の幸せを守る～あきらめない 子どもの貧困～」を基本理念に「第2期宇部市子どもの貧困対策推進計画」を令和4年3月に策定しています。計画では、学習支援や居場所づくり、経済的な支援、困難を抱える子どもへの支援に取り組むこととしており、こどもの現在及び未来を応援する施策を展開しています。

日本ユネスコ協会連盟は、相対的貧困やさまざまな理由で、困難な状況に置かれた日本の子どもたちを対象に、「U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム」（U-Smileプログラム／地域協働型包括教育支援事業）を行っています。

宇部市並びに日本ユネスコ協会連盟は、相互の連携を強化することにより、こども支援を担う多様な主体の参画と連携を促し、困難を抱える子どもに対する持続的な地域協働型包括教育支援の推進を図ることを目的に、包括的連携協定を締結しました。

2. 連携・協力事項

- (1) 困難を抱える子どもに対する地域協働型包括教育支援の推進に関する事
- (2) 困難を抱えるこどもの支援体制のネットワーク化の推進に関する事
- (3) 困難を抱えるこどもの支援活動の推進に関する事
- (4) その他、困難を抱えるこどもの社会的課題の解決に関する事

3. 具体的な取り組み

協定内容の「困難を抱えるこどもの支援体制のネットワーク化の推進に関する事」の取組で、官民連携による地域ワーキングチーム（事務局：日本ユネスコ協会連盟）を組成しました。

こども支援を担う関係者同士をつなぎ、地域のこどもを取り巻く実情及び課題を把握し、地域課題等への取組みを協議するとともに、協議を通じてこどもや子育て家庭への地域における支援体制の構築とネットワーク化を推進して参ります。

定期的にワーキングチーム会合を開催することとしており、参画していただいた企業・団体様は以下のとおりです。

- ・ 学生団体Ube col（宇部カレ）
- ・ 宇部商工会議所
- ・ 宇部ユネスコ協会
- ・ 市民活動センター「青空」
- ・ 株式会社ファーストリテイリング
- ・ 国立大学法人山口大学
- ・ 宇部市社会福祉協議会
- ・ 株式会社宇部日報社
- ・ 一般社団法人キッズラブ
- ・ 日本航空株式会社 山口支店
- ・ 株式会社山口銀行 宇部支店
- ・ UBE株式会社